

# 教育研究業績書

2017年05月29日

所属：英語文化学科

資格：教授

氏名：米田 みたか

|                  |   |
|------------------|---|
| 研究分野             | 研究内容のキーワード  |
| 英語教育             | 教材開発、英語教授法、シンガポールの英語教育、駐在員の英語                         |
| 学位               | 最終学歴  |
| 修士（人文科学） 博士（教育学） | シカゴ大学大学院 人文科学学部 修士課程 修了<br>西オーストラリア大学大学院 教育学部 博士課程 修了 |

| 教育上の能力に関する事項 |     |    |
|--------------|-----|----|
| 事項           | 年月日 | 概要 |

|   |                 |  |
|---|-----------------|--|
| <b>1 教育方法の実践例</b>                                 |                 |  |
| 1. 国際ボランティアグループ、MECの担当して、スカイプを使った交流など指導           | 2013年4月～2015年3月 | シンガポール、スウェーデンの学生とスカイプを使ってバイリンガル・ディスカッション実施。外国人の観光案内や留学生との交流会など英語を使う機会を設定した。  |
| 2. 英文学科ビジネス・コミュニケーション系のコーディネータとしてカリキュラム、シラバスのデザイン | 2012年4月～現在      | ビジネスの専門分野の英語をESP (English for Specific Purposes「特定の目的のための英語」) や内容を重視したアプローチ (CLIL) の視点を取り入れた授業方法を考案・作成している。  |
| 3. 学習者の社会への関わりを意識を高める授業                           | 2012年4月～現在      | 学習者の国内外の出来事への関心を高め、社会との関わりへの意識を高めるために、そのときどきに発生した時事など生の英語素材 (Authentic Materials) を教材と導入している。特にビジネス系・産業界のニュースやビジネスリーダーのインタビューを取り上げ、高学年の学習者が就職活動を行う際に企業への関心や知識を高めることを視野に入れた授業を心がけている。 |
| 4. 受講生参加型の授業など多様な授業方法を採用                          | 2012年4月～現在      | 学習者が積極的に授業に参加する受講生参加型や双方向授業、グループ・リサーチ&プレゼンテーションの形態をとった学習者中心の授業を実施している。   |
| 5. 英語による授業展開                                      | 2012年4月～2014年3月 | ビジネスコミュニケーション基礎、ホスピタリティ英語科目でSクラス (ACE) を担当し英語で授業を展開した。   |
| 6. 学習者の社会への関わりを意識を高める授業                           | 2012年～現在        | 学習者の国内外の出来事への関心を高め、社会との関わりへの意識を高めるため、その時々発生した時事など生の英語素材を教材として使用する授業を展開している。  |
| 7. E-learningを使った自習コースの作成                         | 2009年4月～2012年3月 | Moodle (E-learningのプラットフォーム) を使った英語学習の自習コースの作成。  |
| 8. 英語学習相談室の運営 (お茶の水女子大学外国語教育センター)                 | 2009年4月～2012年3月 | 英語学習への動機づけとその維持、自立的学習者の育成を目的とした英語学習相談室を開設し、学生の英語学習についての相談を行った。教員と学習者が相談した上で、個々の目的とレベルにあった学習スケジュールを作成し、継続的な英語学習をサポートした。   |

|                                    |          |  |
|------------------------------------|----------|--|
| <b>2 作成した教科書、教材</b>                |          |  |
| 1. Did You Catch It?               | 2012年03月 | 英語の長文を聞いて、内容が理解できるリスニング力を養成することを目標にし、通訳者養成訓練法として使用されているリテンション、リプロダクション、ディクテーションの練習を導入。ペアワーク等の協同学習を取り入れ、学習者参加型の授業が行えるよう作成した。第一著者 (共著者: Chris Valvona) |
| 2. Working Up to Paragraph Writing | 2011年03月 | 英語の文章の構造を学び、意味を明確に伝える文章が書けることを目標に、学生同士でブレインストーミングや話し合いでアイデアを出し合ってから、書く段階に入るという手法をとっている。第一著者 (共著者: Robert Lamitie他)                                   |

|                              |                |  |
|------------------------------|----------------|--|
| <b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b> |                |  |
| 1. 社内翻訳                      | 1997年4月1998年6月 | 企業でビジネス文書、技術レポート、マニュアル等の日英、英日翻訳。海外の技術開発部門との英語によるレスポンス担当。           |
| 2. 海外駐在員のための英語研修             | 1996年4月1997年3月 | 企業で英語圏の国へ駐在が決まっている社員の駐在前教育の英語教育を担当。                                |
| 3. 実務翻訳                      | 1992年1月1997年3月 | テレビ局のサイエンス番組の資料の英日翻訳、ケーブルテレビのナレーションなどの日英翻訳、その他ビジネス文書、技術文書等の日英・英日翻訳 |

|              |  |  |
|--------------|--|--|
| <b>4 その他</b> |  |  |
|              |  |  |

| 職務上の実績に関する事項 |     |    |
|--------------|-----|----|
| 事項           | 年月日 | 概要 |

|                |         |  |
|----------------|---------|--|
| <b>1 資格、免許</b> |         |  |
| 1. 通訳技能検定 2 級  | 1998年3月 |  |

| 職務上の実績に関する事項                 |          |    |
|------------------------------|----------|----|
| 事項                           | 年月日      | 概要 |
| <b>1 資格、免許</b>               |          |    |
| 2. 工業英語能力検定 (テクニカルライティング) 2級 | 1997年7月  |    |
| 3. 実用英語技能検定 1級               | 1996年12月 |    |
| 4. 教員免許 中学、高校 (英語)           |          |    |
| <b>2 特許等</b>                 |          |    |
| <b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b> |          |    |
| <b>4 その他</b>                 |          |    |

| 研究業績等に関する事項  |         |           |   |   |
|--|---------|-----------|---|---|
| 著書、学術論文等の名称  | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称   | 概要  |
| <b>1 著書</b>  |         |           |   |   |
| 1. Did You Catch It?   | 共       | 2012年03月  | Cengage Learning  | 米田みたか、Chris Valvona.<br>長文を聴いて、内容理解ができるリスニング力の養成を目標とした教材。   |
| 2. Working Up to Paragraph Writing   | 共       | 2011年03月  | 朝日出版  | 米田みたか、Robert Lamitie 他<br>英語の文章の構造を学び、意味を明確に伝える文章が書けることを目標に、学生同士でアイデアを出し合ってから、書く段階に入るという手法をとっている。   |
| 3. English for Business Purposes: Japanese Professionals in Singapore                          | 単       | 2010年07月  | VDM Publishing  | シンガポール在住日本人駐在員に仕事で使用する英語について日本人と日本人以外のシンガポール在住者に面接を実施し、その自己認識をもとに、ビジネス現場に求められる英語について分析・考察を行った。(博士論文を加筆・修正)  |
| <b>2 学位論文</b>  |         |           |   |   |
| 1. English for Business Purposes: Japanese Professionals in Singapore                          | 単       | 2007年03月  | The University of Western Australia<br>博士論文   | シンガポール在住の日本人駐在員に仕事で使用する英語について日本人と非日本人に面接を実施した。その自己認識をもとに、ビジネス現場に求められる英語について分析・考察を行った。   |
| 2. The Idea of Persuasion in Japanese Business Writing: New Analytical Methods                 | 単       | 2001年03月  | The University of Chicago<br>修士論文   | 日本人が論理的な文章を書く場合と読む場合と好ましいと感じる構成方法についての分析、検証を行った。  |
| <b>3 学術論文</b>  |         |           |   |   |
| 1. Doing Business in the Global Village: Japanese Professionals on EL Needs in Singapore (査読有) | 単       | 2015年12月  | Education, Research and Perspectives, Vol. 42. P. 166-206<br><br>Marnie O' Neill and Anne Chapman 編著 The University of Western Australia. | グローバル・ビジネスにおける英語の重要性が強調される中、海外で活躍する日本人の英語教育に関する省察を分析した。特に教授法に焦点をあてた考察である。   |
| 2. Raising Learners' Global Awareness through the Use of Authentic Materials (査読有)             | 単       | 2015年03月  | Mukogawa Literary Review, No. 52, pp. 33-45.<br>武庫川女子大学英文学会   | オーセンティック・マテリアルを使用して行った授業の事例報告である。ニュース、新聞、雑誌、インターネットなどを使って、そのときどきに話題になった企業の題材やビジネスリーダーのスピーチやインタビューを取り上げた。本稿では、教材の選び方やそれをどのように授業に取り入れ、進めていくかを詳しく記述した。また、学習者の授業後のフィードバックも紹介している。 |
| 3. Approaching Course Plan Design via the Language Curriculum Design Model (査読有)               | 単       | 2014年03月  | Mukogawa Literary Review No. 51, pp. 21-32.<br>武庫川女子大学英文学会  | Paul NationとJohn Macalisterが提唱するランゲージ・カリキュラム・デザイン・モデルを使って実際の授業のコースプランを考案した。受講者の学習目標を達成するために、モデル内の要素をバランスよく取り入れることが求められる。教員が授業内で導入するタスク、アクティビティを提案した。                          |
| 4. Designing Assessment Tools: The Principles of Language Assessment (査読有)                     | 単       | 2013年03月  | 武庫川女子大学紀要 (人文・社会科学) 60号、pp. 41-49.  | 言語アセスメントの5原則(実用性、信頼性、妥当性、信憑性、波及効果) (Brown & Abeywickrama, 2010) を授業の評価に応用し、具体的な評価方法を論じた。  |
| 5. Integrating Reading and Writing Tasks in an EFL Class: A Case Study (査読有)                   | 単       | 2011年03月  | お茶の水女子大学人文科学研究第7巻、pp. 153-163.  | リーディングとライティングを統合させることによって期待される相乗効果と協同学習を取り入れることによってインタラクティブにライティングを学ぶという2点に焦点をあてた授業の考察を行った。   |
| 6. 学習者中心の文法指導—グループワークの試み (査読有)   | 共       | 2010年03月  | 明治学院大学教養教育センター「カルチュラル」第4巻、pp. 237-248.  | 文法の授業を選択した大学1年生61名を対象に、学習者中心の授業を展開するために、グループワークを用いた。本稿は、どのようにグループワークを取り入れたかという報告と授業終了後に行ったアンケートの結果を紹介し、受講者のTOEFLスコアの変化も視野にいれ、グループワークを導入した授業の効果                                |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称  | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月   | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称  | 概要  |
|--|---------|-------------|--|---|
| <b>3 学術論文</b>  |         |             |  |   |
| 7. 在シンガポール日本人子女に対する小中高の英語教育について（査読有）   | 単       | 2009年12月    | JACET東アジア英語教育研究会「研究論集」第3号、pp. 63-75.   | についての検証と考察を行った。（共著者：小泉有加）<br>シンガポールには、日本人学校小学部・中学部、早稲田渋谷シンガポール高校があり、国際性を備えた日本人子女を育成するための英語の教育活動が行われている。それぞれの学校の英語授業の見学と英語担当教員への聞き取り調査を行った。本稿はその報告である。 |
| 8. ビジネスにおける英語の使用状況についての考察—シンガポール在住日本人の面接調査の結果から（査読有）   | 単       | 2009年03月    | 明治学院大学教養教育センター「カルチュラル」第3巻、pp. 199-208.   | シンガポール在住の日本人18名に対して行なった、職場における英語の使用状況に関する面接に基づき、日本人がどのような状況でどの程度英語を使用しているのかという現状を明らかにした。  |
| 9. English Language Strengths and Weaknesses of Japanese Expatriate Workers（査読有）   | 単       | 2008年08月    | University Putra Malaysia Press My Language Your Language, Unit 9<br>Mohd Azidan Abdul Jabar 他編著                     | 日本人ビジネスパーソン18名に、英語力の長所・短所の自己評価をしてもらい、その聞き取り調査を行った結果を分析・考察した。（Malaysia International Conference of Foreign Languages Proceedings 2007を加筆・修正）           |
| 10. Needs Analysis of English for Business Purposes: Focusing on Retrospective Views on English Language Education（査読無）                                    | 単       | 2008年06月    | King Mongkut's University of Technology Thonburi<br>Proceedings of the 12th English in South-East Asia Conference    | 業務で使用する英語についてニーズ分析を行った。特に、駐在員に自分たちが受けてきた英語教育と照らし合わせ、どのようなものが役に立っているのか、どのようなものが実際の業務で必要なのかということ報告してもらい、仕事に求められるニーズに応えるための英語教育について考察を行った。               |
| 11. The Perception of Japanese People's English（査読有）   | 単       | 2008年03月    | 明治学院大学教養教育センター「カルチュラル」第2巻、pp. 21-34.   | 仕事で日本人と関係のある英語話者に、日本人の英語について個人インタビューとグループ・ディスカッションを行った結果を分析した。  |
| 12. The importance of the English language in a cross-cultural working environment: views from English speakers who have Japanese business associates（査読無） | 単       | 2008年03月    | Proceedings of the 1st International Language Conference. International Islamic University Malaysia                  | 日本人とビジネス上関係のあり、東南アジアを中心に仕事をしている英語話者12人に、ビジネス上の英語について聞き取り調査を行った。英語力が原因で起こる職場でのトラブルやビジネスの機会損失について報告。  |
| 13. English Language Strengths and Weaknesses of Japanese Expatriate Workers（査読無）  | 単       | 2007年08月    | University Putra Malaysia<br>Malaysia International Conference of Foreign Languages<br>Proceedings 2007、pp. 168-173. | 日本人ビジネスパーソン18名に、英語力の長所・短所の自己評価をしてもらい、その聞き取り調査を行った結果を考察した。   |
| <b>その他</b>   |         |             |  |   |
| <b>1. 学会ゲストスピーカー</b>   |         |             |  |   |
| 1. 英語はどのように使われているか—シンガポールの事例   | 単       | 2013年06月2日  | 武庫川女子大学春季英文学会講演会<br>武庫川女子大学、兵庫   | 東南アジアの経済・貿易の中心であるシンガポールでは、英語が公用語のひとつとして採用されている。本講演では、シンガポールの言語政策、シンガポール人にとっての英語、そして、そこで働く日本人駐在員にとっての英語について紹介した。                                       |
| 2. グループワークを用いた授業—英語特別研究の授業報告を中心に   | 共       | 2010年03月26日 | 明治学院大学教養教育センター<br>英語教員ワークショップ<br>明治学院大学、東京   | 文法の復習、強化を目標にした授業で実施したグループワークの具体的な方法を紹介した。学習者が一方的に教員の解説を聞くという受け身の姿勢で授業に臨むのではなく、ひとりひとりの学習意欲を高め、授業に参加をしているという自覚を持ってもらうための方法や工夫を提示した。                     |
| <b>2. 学会発表</b>   |         |             |  |   |
| 1. Analysis of Skills Required for Senior Students' Future Careers   | 単       | 2017年3月24日  | TESOL 2017 International Convention<br>Seattle, Washington, USA  | 大学生に将来のキャリアに求められているスキルについての分析を行った。就職活動を行った大学生に量的調査と質的調査を実施し、英語力に加えどのようなスキルが求められているのかを分析し発表を行った。（英語発表）   |
| 2. Assessing Employer Expectations of College Graduates: Reflections on the Value of English during the Job-Seeking Process                                | 単       | 2016年12月2日  | The Seventh CLS International Conference<br>LaSIC 2016<br>シンガポール国立大学   | 企業が大学生に求める英語力について理解を深めるため、就職活動を行った学生に半構造インタビューを行った。就職活動生の観点から自分たちに求められている英語力について考察した結果を発表した。（英語発表）  |
| 3. An English Syllabus Design to Foster Global-Mindedness  | 単       | 2015年3月27日  | TESOL 2015 International Convention<br>Toronto, Canada   | 学習者が国内外の出来事に関心をもち、グローバルな視点でものごとを考えていく姿勢を養うことを目的に、Nationが提案する外国語活動の4つの分類、Four Strandsを基にデザインしたシラバスの一案を発表した。（英語発表）                                      |
| 4. Syllabus Design for an EFL Course Incorporating Real-world Materials  | 単       | 2014年12月4日  | The Sixth CLS International Conference<br>LaSIC 2014<br>シンガポール国立大学   | 教材用に加工されていないオーセンティックな英語を使用したEFLの授業のシラバスデザインについて発表を行った。（英語発表）  |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称  | 単著・<br>共著書別 | 発行又は<br>発表の年月 | 発行所、発表雑誌等<br>又は学会等の名称  | 概要  |
|--|-------------|---------------|--|---|
| <b>2. 学会発表</b>   |             |               |  |   |
| 5. 多角的なアプローチによるグローバル人材育成への取り組み   | 共           | 2014年08月30日   | 大学英語教育学会(JACET)第53回国際大会 特別企画グローバル人材育成のための大学英語教育の取り組み   | グローバル人材育成のために武庫川女子大学英語文化学科で実施している留学などの様々な取り組みを紹介した。   |
| 6. Enhancing Students' Interest in World Incidents through Authentic Materials   | 単           | 2014年03月27日   | TESOL 2014 International Convention<br>Portland, Oregon, USA   | 学習者の国内外の出来事への関心を高めるために、生の英語素材を教材として使用した授業の事例報告である。本発表では、どのような素材を取り上げ、どのように授業で使ったか、そして、その結果として学習者の意識は変化したのか等フィードバックを報告した。(英語発表)  |
| 7. Presentations on Corporate Culture in a University ESP Course   | 単           | 2013年03月21日   | TESOL 2013 International Convention<br>Dallas, Texas, USA  | 就職活動中の大学4年の学生が企業文化について研究を行い、その内容をプレゼンテーションした授業の報告である。(英語発表)   |
| 8. Academic listening: promoting learners' active participation  | 単           | 2011年09月02日   | JACET Convention 2011<br>The 50th International Convention<br>福岡、西南学院大学  | 受け身になりがちなリスニングの授業を学習者中心、コミュニカティブに授業を試みた事例報告である。レクチャースタイルのリスニング教材をインタラクティブに行ったノートテキング、サマライズなどの手法を提示した。(英語発表)   |
| 9. Effectiveness of the Retention Method, the Method for Training Interpreters   | 単           | 2011年04月18日   | The 46th RELC (Regional Language Center) International Seminar<br>RELC Southeast Asian Ministers of Education Organization<br>シンガポール | 通訳訓練法のひとつであるリテンションを授業に取り入れ、学習者の参加を促した授業の報告を行った。学習者の参加を促すための手法と学習者の授業終了後のフィードバックも紹介した。(英語発表)   |
| 10. The English Environment Surrounding the Japanese Business Professionals Abroad   | 単           | 2010年01月30日   | JACET 関東ESP研究会 2010<br>芝浦工業大学、東京   | 日本人ビジネスパーソンの職場における英語使用の現状に関する調査の発表である。シンガポール駐在の日本人を対象に国際ビジネスにおける英語使用の現状、必要な英語スキルについて調査した結果を報告した。(英語発表)  |
| 11. Curriculums of English Language Education: Approaches of Japanese Schools Overseas   | 単           | 2009年11月20日   | The 3rd Biennial International Conference on the Teaching & Learning of English in Asia<br>ブルネイ・ダルサラーム国                              | 在外教育施設であるシンガポール日本人学校小学部、中学部で行われている英語教育の現状について報告である。学校訪問を担当教員への聞き取り調査と授業見学を行い、英会話クラスの実施、一部教科のイマージョン教育などの英語教育に取り組んでいる現状について発表した。(英語発表)                                    |
| 12. 学習者中心の文法指導—グループワークの試み  | 共           | 2009年09月05日   | 第48回JACET全国大会<br>北海学園大学、北海道  | 学習者の授業参加を促すためにグループワークを活用した授業の実践報告である。発表では、授業の運営方法を詳細に紹介し、受講者のフィードバック、教育的効果の検証を行った。  |
| 13. リーディング・クラスにおけるライティング指導の実践報告  | 単           | 2009年06月20日   | JACET九州・沖縄支部第23回研究大会<br>琉球大学、沖縄  | 大学の授業において文芸作品を精読し、登場人物について自分なりの解釈をして論じ、最終的にその内容をペーパーに書くという、リーディングからアカデミック・ライティングへ連携した授業の過程を報告した。  |
| 14. 海外子女の英語教育：シンガポールでの取り組み   | 単           | 2009年05月16日   | JACET東アジア英語教育研究会第88回<br>西南学院大学、福岡  | シンガポールの邦人の子女の多くが通学する日本人学校の小学部・中学部、早稲田渋谷シンガポール高校での英語教育は、その学習段階に応じて多様な授業を展開している点に特徴がある。それぞれの特徴を現地で英語教育に携わった者としての観点から発表した。特に、担当をした早稲田渋谷シンガポール高校のチュートリアル・プログラムの導入から現状を報告した。 |
| 15. Elementary School English: Expectations and Anxieties of Future Teachers   | 単           | 2008年12月06日   | The 13th English in South-East Asia Conference<br>シンガポール国立教育研究所、シンガポール   | 教育学部の小学校教育専攻の1年生の学生に、将来英語活動の指導を担当することになった場合、どのような準備が必要になるのか、学生が認識しているのかについて調査をしたものを発表した。(英語発表)  |
| 16. English Proficiency Tests: Reflections from the Japanese Business Community  | 単           | 2008年08月01日   | The Asia TEFL International Conference 2008<br>バリ、インドネシア   | 従業員の英語力の向上のために、昇進の条件に一定のスコアの取得を求める企業が増えている。このような状況下で、企業での英語能力テストを、そこで働く人たちは、どのように捉えているのかインタビュー調査を行った結果を発表した。(英語発表)  |
| 17. The Perceived Value of English Among Japanese Professionals  | 単           | 2008年06月28日   | The 9th International Conference of the Association of Language Awareness<br>香港大学、香港   | ビジネスの現場での英語の重要性は増し、文部科学省も「英語が使える日本人」の育成を目指している中、実際に英語を使用する環境で業務を行っている日本人は英語の重要性についてどのように考えているのかインタビューを行った。その結果を発表した。(英語発表)  |
| 18. The Importance of the English Language in a Cross-cultural Working Environment: Views from English Speakers Who Have Japanese Associates | 単           | 2008年03月04日   | The 1st International Language Conference<br>International Islamic University Malaysia<br>マレーシア                                      | グローバルなビジネスでの英語の重要性は増している。日本人とビジネス上関係のある英語話者12人に、ビジネス上の英語について聞き取り調査を行った。英語力が原因で起こる職場でのトラブルやビジネスの機会損失について報告された。(英語発表)   |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称  | 単著・<br>共著書別 | 発行又は<br>発表の年月   | 発行所、発表雑誌等<br>又は学会等の名称  | 概要  |
|--|-------------|-----------------|--|---|
| <b>2. 学会発表</b>   |             |                 |  |   |
| 19. Needs Analysis of English for Business Purposes: Focusing on Retrospective Views on English Language Education | 単           | 2007年12月13日     | The 12th English in South-East Asia Conference King Mongkut's University of Technology Thonburi バンコク | ニーズ分析を行うため、日本人駐在員に業務で使用する英語について調査した。特に、自分たちが受けてきた日本での英語教育と照らし合わせ、どのようなものが役に立っているのか、また、どのようなものが実際の業務で必要なのかということを報告してもらった。学生と社会のニーズに応えるための英語教育について考察を行った。(英語発表)         |
| 20. English Language Strengths and Weaknesses of Japanese Expatriate Workers                                       | 単           | 2007年08月17日     | Malaysia International Conference on Foreign Languages 2007 University Putra Malaysia、マレーシア          | 日本人駐在員に、英語力の長所・短所の自己評価をしてもらい、その聞き取り調査を行った結果をまとめ、発表した。(英語発表)   |
| 21. Analysis of Writing Structure: Using Japanese Business Correspondence  | 単           | 2007年06月07日     | The Asia TEFL International Conference 2007 マレーシア  | 日本人は、最後に結論を持つてくる帰納法の文章を好むと一般的に言われるが、その傾向が本当に日本人の好む文章スタイルなのかを、ビジネスレターを使って分析を行い、発表した。(英語発表)   |
| 22. The Usage of English in the Workplace by Japanese Professionals in Singapore                                   | 単           | 2006年08月02日     | The Asia TEFL International Conference 2006 西南学院大学、福岡  | シンガポール在住日本人駐在員に、職場で使用する日本語と英語の使用量の割合を調査した結果、日系企業での英語使用率が相対的に低いことが判明した。その理由として、企業が日本語能力のある現地の人材や、現地で英語力の高い日本人を雇用して、日本語を使える環境を作り出していることが挙げられる。この調査とその分析した結果を発表した。(英語発表) |
| <b>3. 総説</b>   |             |                 |  |   |
| <b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>  |             |                 |  |   |
| <b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>  |             |                 |  |   |
| 1. Needs Analysis of English in Japanese University Students' Career Development: A Case Study                     | 単           | 2016年03月        | Mukogawa Literary Review No. 53, P. 49-64  | 研究ノート<br>大学生の就職活動において、企業が求める英語力についてのニーズ分析のパイロットスタディである。大学生にアンケートと面接を実施し、就職活動のどの段階でどのような英語力が求められたかを調査した。英語力以外に異文化や困難にどのように対応したかなど人間としての力を問われていることを明らかにした。              |
| 2. 英語はどのように使われているか—シンガポールの事例   | 単           | 2014年03月        | Newsletters, Department of English Mukogawa Women's University No. 30                                | 他民族が共存するシンガポールでは、英語が公用語のひとつとして採用されている。本報告書では、シンガポールの言語政策、バイリンガル政策、シンガポール・イングリッシュなどについて説明した。そして、そこで働く日本人駐在員がどのように英語を使って仕事をしているのかについての考察をまとめた。                          |
| <b>6. 研究費の取得状況</b>   |             |                 |  |   |
| 1. 科学研究費基盤研究 (C)   | 共           | 2017年4月         |  | オーセンティック・マテリアルの選定方法とそれを利用した効果的な英語教授法の構築<br>研究代表者  |
| 2. 武庫川女子大学科学研究費補助金 学内奨励金   | 単           | 2016年8月～2017年3月 |  | キャリアディベロップメントにおける英語ニーズ分析とカリキュラム開発   |
| 3. 武庫川女子大学科学研究費補助金 学内奨励金   | 単           | 2013年7月～2014年3月 |  | 複眼的ビジネス英語のカリキュラムと教材開発   |
| 4. お茶の水女子大学共同研究用経費   | 共           | 2009年9月～2010年3月 |  | 自律した英語学習者を養成するための教員の役割  |

学会及び社会における活動等

| 年月日                | 事項                                 |
|--------------------|------------------------------------|
| 1. 2017年4月～現在      | 大学英語教育学会会員                         |
| 2. 2013年7月～現在      | TESOL International Association 会員 |
| 3. 2013年4月～現在      | TESOL Convention 審査員               |
| 4. 2011年4月～2015年3月 | JACET 関東ESP 紀要編集委員                 |
| 5. 2007年4月～現在      | 全国語学教育学会会員                         |
| 6. 2006年7月～現在      | Asia TEFL 会員                       |
| 7. 2003年04月～現在     | 実用英語検定面接委員                         |